

教 科	科 目 名		
家 庭	生 活 技 術		
科目の種類	単位	形態	講座定員
3年エリア必修	3	通年	1クラス

科 目 に つ い て 年 間 の 授 業 内 容	科目の概要	1年の家庭基礎の学習をより深め、さらに衣食住や保育、そして暮らしの中の科学技術、消費経済などに関する基礎的・基本的な知識と技術を身につけることを通じて、社会の一員として自立して行動できる生活や態度をより一層養う。	選択条件	3年テク基礎エリア必修
		■1学期(中間テスト 16時間、期末テスト 12時間)	授業形態	講義形式の授業と、実験実習・調理実習・被服製作実習、保育園実習を組み合わせた授業形態をとる。
		1. 暮らしの中の「食」について考える ①食生活について考えよう ②栄養と食品 ③食品の選択と取り扱い ④献立と調理 家庭科食物調理技術検定 3, 4 級受検 お弁当の実習 自分でお弁当の献立を考え、実習をして文化祭で発表 2. 暮らしの中の「科学技術」 家庭生活と電気・機械 電子レンジやフードプロセッサを使って 効率よい調理を学ぶ。	教科書・使用教材	教科書: 教育図書 新生活技術 副教材: 学習ノート 使用教材: 新生児模型、ビデオ教材、布を使った実習の教材(手作りモップ)、手作り絵本、手作りおもちゃ、住居模型、家計計算シール帳等
		■2学期(中間テスト 21時間、期末テスト 24時間)	評価の観点	・定期考査による学習達成度。 ・検定の合格状況 ・課題、提出物(実習作品含む)の提出状況ならびに達成度。 ・出席状況・授業態度等。 ・文化祭における発表の達成度。
		3. 子どもとともに ①子どもの育ち ②親のかかわり ③子どもの福祉 手作り絵本・おもちゃ作り * 保育園実習(2回程度) 手作りおやつ 4. 住生活における健康と安全 ①住まいについて考えよう ②快適な住まいについて考えよう ③平面計画 部屋の模型作り ④これからの住生活と環境 手作りモップ作り ■3学期(期末テスト 30時間)	評価の方法	・定期考査による学習達成度。 ・課題、提出物(実習作品含む)の提出状況ならびに達成度。 ・出席状況・授業態度・実習における身じたく等。 ・文化祭における発表の達成度。 ・検定に合格できたかどうか。 ・保育園実習に意欲的に取り組めたか。
	5. 暮らしの中の「消費」 ①私たちの生活と経済を知ろう ②家計から生活を考えよう。 簡単な家計計算 シール式教材 ③自立した消費者になろう	備考	・実習費の実費徴収 ・検定受検料	